

花頭窓

切り取られた風景が 深まる季節を映す。

天得院は東福寺の塔頭の一つで、南北朝時代の開創。1614（慶長19）年、豊臣家滅亡の原因となった方広寺鐘銘事件が起ころ。東福寺長老で天得院を住坊とする文英清韓は豊臣秀頼の求めで方広

寺の鐘銘を起草。「国家安康 君臣豊楽」の文字が徳川家康の怒りを招き、天得院も取り壊されたと伝わる。現在の建物は1789（天明9）年の再建。通常は非公開だが、初夏と紅葉の時に特別公開される。初夏のキキョウも愛らしいが、花頭窓を通して眺める紅葉も美しい。花頭窓は上部がアーチのような曲線を描く釣り鐘型の窓。枯山水庭園のコケの緑に映える紅葉がくつきりと切り取られる。

天得院



光景、深々

「秋の都景あれこれ」写真：中田昭

いよいよ今年も紅葉の季節を迎える。あちらこちら、そここの木々が燃えるように色づき始め、日に日に彩りを深めていく。透き通る空気が鮮やかな風に染まる京都です。

特別公開「紅葉を愛でる特別拝観とお食事プラン」
11月15日～12月2日（ライトアップは11月17日～12月2日）
茶席1300円（14:00～17:00）、食事4320円（11:30～14:00/17:00～19:00/予約制）
※閉門は20:00。いずれも拝観料込み。拝観のみの実施はしない。
◎予約・問い合わせ＝京湯元ハトヤ瑞鳳閣 Tel.075-361-1231（9:00～18:00）

写真提供＝京都市文化市民局元離宮二条城事務所

◎天得院＝京都市東山区本町15-802/Tel.075-561-5239
JR奈良線、京阪電鉄本線「東福寺」駅から徒歩7分/http://www.tentokuin.jp/tera/



ラグジュアリーな空間にこだわりの家具
ゆったりとしたお部屋は長期滞在にも最適です



KYOTO
FOUR SISTERS
RESIDENCE

“京都の邸宅”フォーシスターズレジデンス
京都市中京区西洞院通竹屋町下ル Tel.075-221-8520
https://www.foursisters-kyoto.com/

秀吉の夢、醍醐寺のもみじ狩り



醍醐寺 秋期夜間拝観

2018年11月16日（金）～12月2日（日）
拝観時間＝18:00～20:50（20:10受付終了）
拝観料＝1,000円（小学生以下無料）
※「特別事前予約拝観券」有り。詳細はHP参照

三宝院 秋期特別拝観（非公開区域）

2018年11月3日（土・祝）～30日（金）
拝観時間＝9:00～16:00（15:30受付終了）
特別拝観料＝500円（他の拝観券に加え別途要）
公開場所＝純浄観、本堂（弥勒堂）、奥宸殿
※但し、11月10日～12日、26日は除く。
※上記除外日以外も、法要等の都合により、急遽休止となる場合があります。予めご了承ください。

醍醐寺に伝わる秘仏を初公開 醍醐寺霊宝館 2018年秋期特別展

2018年10月15日（月）～12月10日（月）
開館時間＝9:00～17:00
（16:00発券終了、16:30受付終了）
※拝観料（三宝院・霊宝館・伽藍）が必要です。

總本山 醍醐寺

〒601-1325 京都市伏見区醍醐東大路町22 Tel.075-571-0002（受付9:00～17:00） https://www.daigoji.or.jp/

拝観時間＝9:00～17:00（16:30受付終了）※12月第1日曜日の翌日～2月末日は16:30まで。
拝観料（三宝院・霊宝館・伽藍）＝大人800円、中学・高校生600円、小学生以下無料 ※10月15日～12月10日は大人1,500円、中学・高校生1,000円。

太閤ゆかりの古刹で味わう精進料理・醐山料理

●三宝そば・五大うどん 各1,080円 ●雨月 1,620円 など

醐山料理 雨月茶屋 〒601-1325 京都市伏見区醍醐東大路町35-1
☎075-571-1321 営業時間/9:00～18:00

紅葉の名所、弁天堂を眺めくつろぎの時間をすごす

●黒糖わらび餅＋手作りアイスクリームセット 700円 ●湯葉丼 1,200円 など

お休み処 阿闍梨寮 寿庵 醍醐寺境内、林泉・弁天堂の隣
☎075-572-7878 営業時間/10:00～17:00

桜の樹を眺めながらゆったりとすごせる憩いの場

French café sous le cerisier <10月1日リニューアルオープン>

霊宝館敷地内 ☎075-571-1321
～桜の樹の下で～ 営業時間/10:00～16:30 ※不定休